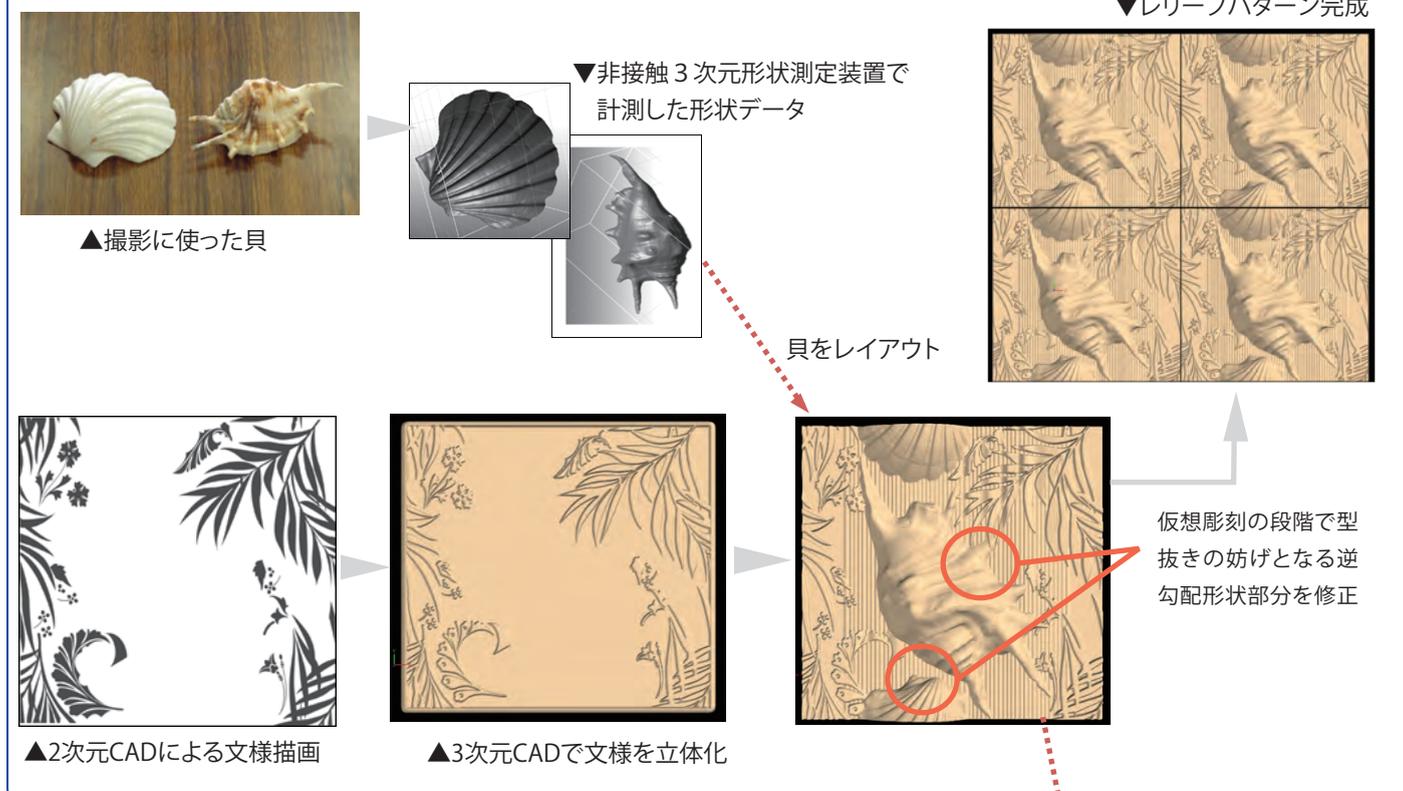


植物や貝などの自然素材から立体造形物を創作しようとするれば、現物からシリコン型をとるしかなく、変形、組み合わせ等の編集作業は不可能であった。そこで、非接触型三次元形状測定装置を造形素材取り込み装置として活用し、CADを駆使して立体造形物を制作する技法について研究した。

また、この技法の応用例として、発泡材を利用したレリーフ（浮き彫り）壁材としての利用を想定し、並べても図柄が連続するようにパターンをデザインした。

#### 立体造形物の3次元データ制作過程



#### 立体造形部3次元データ制作過程



\*ラピッドプロトタイプング:金型なしにCADデータから、直接モデルを紙や樹脂を積層して製作する成形方法